BTC後援会たより

第１５号　2024年５月

イムマヌエル
聖宣神学院後援会
http://btc.jpn.com/

「主の山には備えがある。」

創世記22章8節

会長　中山朝雄

新型コロナウイルス感染拡大も一段落して日常の生活に戻ることができましたが、世界を見渡すといつ世界戦争が勃発してもおかしくないカオスの時代に突入してしまいました。毎日報道されるウクライナやパレチスナ等の悲惨な状況を見るにつけ心が痛く、人間の罪深さ愚かさに、主よ、なぜこの状態をいつまで見過ごされるのですか！神の平和を！と祈らざるを得ない毎日です。

この様な中ですが、神様の憐みと恵みの故にＢＴＣ入学者を昨年秋には２名、今春も２名与えてくださり徐々に神学生が増えてきておりますこと、全国の教会の皆様のお祈りの故と心よりり感謝し主の御名を崇めております。

特に今春入学者の吉村聡兄（久留米教会出身）は、正規生としては久し振りに牧師の家庭で育まれ、様々な青年の働きで良きご奉仕をされ、また社会経験も積まれた兄弟でありインマヌエルの群れにとって明るい兆しを与えてくだり主に感謝いたします。また、もう一人の新入生の神林勤兄（京浜キリスト教会出身）は、80歳でのご入学でまさしく「人生１００年時代」を象徴する兄弟でその姿勢に感銘し、主の御名を賛美しつつエールを送らせていただきたいと思います。

この２名の入学者の姿に象徴されますように夫々の立場から宣教の働きのために主は必要な備えをしてくださいますこと感謝いたします。今後も主に期待させていただきつつ希望を持って献身者興起のために、また新入生や在校生の学びと訓練のために共に祈り続けましょう。また、教団・神学院は献身を志す兄姉が経済面で献身の道が閉ざされることのないように支援体制の充実を図っております。今年度の条例改正で学院での生活に必要な資金援助の月額の引き上げがされました。また、入学納入金減免制度や奨学金代弁済制度も用意されておりますので参考にして、主の導きをお祈りいただければと願っております。

全国の教会とＢＴＣ後援会世話人の皆様の真実なお祈りとご支援に心より感謝いたします。

後援会は、設立後順次地区別に世話人会の開催をコロナ前はＢＴＣベテルハウスで、コロナ禍中はZoomで実施し、世話人同士の情報交換やＢＴＣと献身者興起のために共に祈りの時を持ってまいりましたが、昨年９月に全教区を一巡することができました。残念ながら参加できなかった方々も多くおられましたが、ご協力頂きありがとうございました。

今年度は、後援会世話人の皆さんが実際に来て更に深くＢＴＣを理解していただきたく願って、10月25～26日に開催される神学生が企画するオープンキャンパスに参加してください。オープンキャンパスでは、体験授業をはじめ座談会や美味しいバイキング会食もありＢＴＣを知っていただく大変幸いな機会です。世話人としてＢＴＣをリアルに体験して、その恵みを教会に持ち帰り教会員の皆さんと共にＢＴＣのために、献身者興起のためにお祈りいただければと願っております。参加費・交通費の一部を後援会が補助いたしますので、是非今からご予定いただき備えていただければ幸いです。全国の世話人の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後も教団の将来は神学院にかかっていることを覚え、主の山には備えありの御言葉を信じ、ＢＴＣのために献身者興起のために共にお祈りをよろしくお願いいたします。

目次

巻頭言 1
オープンキャンパスご案内 .. 2
24年度新入生紹介 2
神学生への経済的支援 2
教師陣に聞く 3
神学生の一日 3
日々お祈りください 3
院長コラム 4
24年度第70期卒業生紹介 4

BTC後援会費ご協力に感謝します

全国の教会の皆様のご支援により下記の通り会計報告できますこと感謝いたします。今後も後援会費（1口500円）のご協力をよろしくお願いいたします。

BTC後援会費収支報告書

2024年3月31日現在

項　目	収　入	支　出
23年10月3日繰越金	937,146	
後援会費（教会）	246,000	
雑収入（利息）	4	
通信費		31,867
印刷費		19,885
会議費		5,517
交通費		16,000
小　計	1,183,150	73,269
次期繰越		1,109,881
合　計	1,183,150	1,183,150

2024年度第70期卒業生紹介

３月８日、ＢＴＣ第７０期の卒業式が行われ、正規コース二名、短期コース一名の方々が卒業されました。新年度からそれぞれ任命を受けて地域教会にて主のご奉仕に携われます。先生方の祝福をお祈りをお願いします。

・林眞光兄（先頭）シオンキリスト教団
・森徳子姉（２番目）八王子教会牧師
・矢代ゆう姉（３番目）高津教会

院長コラム「福音の働きを支えた人たち」

（院長　林正弘）

「ルカだけが私とともにいます。マルコを伴って、一緒に来てください。彼は私の務めのために役に立つからです。」（Ⅱテモテ 四・11）

パウロは、幾多の困難や試練を乗り越えてきた勇敢な使徒でした。しかし、偉大な信仰者も孤独を感じることがありました。テモテへの手紙第二は、パウロが囚われの身となり、生涯の終わりが近いことを強く意識する状況で記されました。

彼はテモテに会いたいと願い、「何とかして早く私のところに来てください。」と述べています。かつてはともにいたデマスはパウロを見捨てて行ってしまいました。しかもそれが、今の世を愛したからら、というのはどれほど心痛むことであったかと思います。他の同労者たちについては、パウロも納得していたことと思いますが、それぞれ別の場所に行っていました。パウロを苦しめる人もあり、裁判でも彼は孤独を味わいました。パウロは心を通わせることのできる友との交わりを必要とし、テモテには「マルコを伴って、一緒に来てください。」とも頼んでいます。

この状況にあって、本当の力となったのは主の臨在でした。「しかし、主は私とともに立ち、私に力を与えてくださいました。」と記されているとおりです。主がともにだされば、それで十分です。それは確かなことです。しかし、ともにおられる主は、一人の人物をパウロのそばに置いていてくださいました。それがルカです。「ルカだけが私とともにいます。」言のうちにパウロはどのような気持ちをにじませていたでしょうか。一人しかいない、という寂しさもあったことでしょうが、ルカだけはいる、という心強さがあったのではないでしょうか。使徒の働きを見ると、パウロの伝道旅行の多くにルカが同行していたことが分かります。伝道者として活躍することはなかったかもしれません。しかし、パウロにとって、医者であり教養人であるルカが同行してくれたのはどれだけ助けになったことでしょうか。特に孤独を感じる状況でともにいてくれたことは。

私たちは、主の働きのなかでどのような存在でしょうか。

ホッとひと息

編集後記

企画担当から

２０２０年の年会は、神学院を会場にファミリー年会となる予定でしたが、コロナ禍で中止、６月に事務年会となりました。音響、画像、配信機器が更新されたＢＴＣウエスレーチャペルを会場として、疾病の脅威が減少した今年3.月に対面形式で年会が開催されました。来年も神学院が会場となるとのことです。今後も信徒の奉仕が重要になるでしょう。（ｓ・Ｔ）

2024年5月1日　第15号
編集・発行人
中山朝雄（後援会会長）
後援会事務局
〒226-0024
神奈川県横浜市緑区西八朔町1194-2
※後援会についてお問い合わせは
下記までご連絡ください。
メールアドレス
koenkai@btc.jpn.com

オープンキャンパスご案内　聖宣神学院　田辺宣恵

毎年恒例で秋にオープンキャンパスが、今年は十月二五、二六日に行われます。神学生ならではの企画で、普段受けている授業から、興味深いものを選んで先生に依頼して体験授業や、座談会、フェロシップなど神学院や神学生の生活などわかりやすく、楽しく知ってもらえる企画しています。その他、美味しいバイキング食事、チャペル体験などもあります。最近は若い方々がたくさん参加してくださり、合間にいろいろなことをシェアして、非常に盛り上がります。体験授業は特に普段読んでいる聖書の地形など詳しく知って、目からうろこが落ち、聖書読むのが楽しくなりましたという感想もよく聞かれました。八月には各教会に案内が届きます。締切は九月末日です。ぜひこの機会に神学院を体験してください。

～全国の後援会世話人の皆様へ～

オープンキャンパスにご参加ください‼

BTCを更に深く理解する良き恵みのチャンスです。特に、まだBTCを訪れたことのない兄姉は、是非この際参加されては如何でしょう。後援会より参加費・交通費の一部補助を予定しております。八月に詳細をご案内いたしますので、今から予定していただければ幸いです。

（2023年開催オープンキャンパス参加の皆様）

２０２４年度新入生紹介

神林勤兄（京浜キリスト教会）シニアコース

イムマヌエル聖宣神学院のシニア３年コースに入学が許されたことは、私にとって非常な驚きでした。これからの神学院での学び、召命を受けた者としての伝道師や与えられたビジョンの働きに必要な身体の健康と英知は全て主が与えて下さるご約束を感謝します。また、これからの、この者の献身の歩みのためにお祈りと実質的なサポートを今後ともよろしくお願いいたします。

吉村聡兄（久留米教会）正規コース

与えられた献身のみことばは、出エジプト記３章11・12節です。そこで神様が「あなたとともにいる」と語り、「このわたしがあなたを遣わすのだ」と言って導いてくださることに感謝しつつ、やがての派遣に思いを向けながら、神学院での生活、学びに励んで参りたいと思います。小さき者のためにお祈りいただければ幸いです

神学生への経済的支援制度について

神学院は神学院に居住して学びと訓練に与る神学生が経済的な理由により学業継続が困難にならないように自己負担の軽減を図るため、納入金減免制度・生活支援制度・奨学金代弁済制度を用意しております。納入金減免制度は、神学生納入額の一定額ないしは全額の納入を一時免除し、生活支援制度は、神学院での生活に必要な額を原則として月額五万円（以前は一万円）を上限として給付する制度です。また、奨学金代弁済制度は、入学以前の学生時代に受けていた奨学金の返済を教団が立て替えて納入する制度です。夫々の制度利用には別途規定がありますが、当教団は手厚い経済的支援制度を用意しておりますので、献身を志している兄姉で経済的支援を必要とされる場合は、牧師や神学院にご相談くださるようお勧めいたします。

教師陣に、聞く
～聖書の神について考える～

福岡教会牧師　國重潔志

娘が通っている高校の後援会の総会に出席したときのことです。高校のすぐ近くにあるプロ野球のドーム球場で初めて運動会を行うこととなり、その費用を後援会も一部負担するという説明がある中、ある方が、これは来年も運動会の為に支出するものですか、と質問されました。これについて学校長から説明があり、昨年行ったので今年も行うと自動的に決まることは何一つ無いというのが学校方針であり、あらゆる行事について、それを行うかどうか、また行うならどのように行うかについて必ず検討するので、来年もドーム球場で運動会を行うかどうかは未定です、と答えられました。そのやりとりを聞きながら、こうして常に顧みる姿勢を持ち、常に成長しようと取り組んでいる学校に娘を送っていることに親として安心感を覚えました。

神学のクラスを担当していますが、受講者は牧師になろうとする方々ですので、神さまについて深く考え、それなりの意見を既に持っておられるのは当然のことです。そして神学のクラスを一つも受講しなくても牧師になれるでしょう。それでも神学のクラスが用意され神さまについて考えるというのは、神さまについて十分に分かっていると満足せず、自らが持っている神さまについての思いや考えを、組織的に、つまりあらゆる角度から改めて考え直し、成長していくためです。

暴論のようですが、神学に取り組まなくても牧師はできます。けれども、それは行われている行事をさらに良いものにしようという検討を全くせず、ただ機械的に繰り返している学校のようなものです。生徒がより良い学校生活を送ることができるようにと学校の先生たちが工夫を重ねておられるように、教会への奉仕がより素晴らしくなるために神さまについて常に謙って考え直す習慣を自分自身に馴染ませていくことが神学のクラスであると考え取り組んでいます。このためにお祈り頂けますなら感謝に存じます。

神学院での一日
愛による励ましの日々　正規コース二年　水口聡

いつもお祈りとお支えによって、学びと生活が一日一日守られておりますことを心より感謝します。

緑に囲まれたキャンパスの中では、春になると数種類の鳥が鳴き出し起こしてくれます。六時から八時までの間にそれぞれ一人になって静まり、ディボーションの時を持ちます。個人的には昨年の秋から詩篇のみことばを土台に祈るときを持つようになり、励ましをいただいています。

八時からは週に数回、キャンパスを定期的に清掃し、その後、午前と午後の授業が始まり、授業後のチャペルメッセージに励ましをいただきます。

お昼はボランティアの方々が週二回絶品ＢＴＣランチを作ってくださり、私たちの身体の健康はその栄養満点なメニューによって支えられているといっても過言ではありません。（本当にいつもありがとうございます）夜は定期的に賛美と祈り合う時があり、日曜はそれぞれの実習教会で礼拝を守り、沢山の恵みをいただきます。

このような一つ一つの機会には人との関わりがあり、そこには交わりを通して、人が神様によって与えられる愛の姿について、学院や教会での交わりを通して、愛によって励まされ、教えられ、語られる機会をいただいています。

（右はご夫人の恵姉。ご夫妻で正規コース受講中）

◆日々お祈りください

①献身に導かれる方が与えられるように。特に、若い方々がさらに加えられるように。

②神学生の学びと訓練が祝されるように。

③教師、職員、スタッフが恵みによって用いられるように。

④今後のキャンパス活用に主の導きがあるように。

⑤神学院の必要が豊かに満たされるように。

⑥後援会役員、推進委員、世話人が尊く用いられるように